



憲法学習会 戦争は究極のアンチ・ケア

憲法のねうちを今こそ

大阪憲法会議・共同センターは4月7日春の憲法学習会を開き、同志社大学の岡野八代教授が講演「平和、人権、平等、ジェンダー憲法のねうちを今こそ」戦争は究極のアンチ・ケア」を行いました。

いま日本は「衰退途上国」(発展途上国との対比)と世界から言われている。国民1人当たりのGDPで台湾、韓国、シンガポール、香港の下。能登半島地震避難所・体育館の状況は阪神淡路大震災と変わらない。

個人の尊厳を守るのが立憲主義。尊厳ある個人の基本的人権をよりよく実現するために国家は存在している。しかし、国家は「守ってやるぞ詐欺」。社会学者のチャールズ・ティリーは「ゆすり屋」と指摘した。「外国の暴力からの保護を提供しているのだ」とし

子どもの権利NGO大阪

子どもの意見反映は重要 子ども基本法・家庭庁

子どもの権利・NGO大阪は4月21日、子ども基本法・子ども家庭庁(22年通常国会成立)の学習会を行いました。講師は岩藤智彦さん(国会議員秘書)。



戦争する国づくりをする人々は「家族の絆」「家族の一体感」を強調する。自民党改憲PTは家族を強調。「よい家族こそ国の基礎。女性の家庭をよくする気持ちが国を支えてきた」と。

規模な公的託児事業)、保育の質の向上を阻害する。支援金は格差を拡大し貧困解消に逆行。財源は社会保障支出「改革」で安倍政権による社会保障抑制に匹敵する。介護保険の給付抑制・負担増や高齢者の医療保険の負担増となる。

中学校社会科

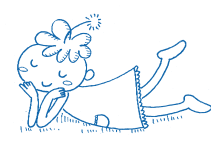
教科書採択申入

戦争美化の教科書を子どもたちにわたさない大阪市民の会は4月19日「中学校の歴史・公民教科書の採択にあたっての申し入れ書」を市教委に提出しました。

教科書採択されませんでした。教科書採択のシステムが一定改善されました。保護者・市民、現場教職員の意見をさらに反映する教科書採択が求められます。

たんぽぽ だより 5月

しんかんフェスタ(4月21日)の「学び屋台」では、先輩先生がたくさんの教材をご用意してくださいました。私もやってみよう！とお土産をいただきました。どれも、すぐに楽しんで取り組にされています。



賃上げ 処遇改善 市人事委勧告を

実質賃金23カ月連続減、過去最長と並び厚労省が4月8日発表しました。「初任給アップ競う企業」「中小賃上げ幅 大手と格差」「非正規 賃上げの風ど」なども報じられています。

ガーベラ だより 同一労働同一賃金 講師「2級」適用

大阪市教職員の給料は、本務教員は教育職給料表(2)の「2級」、常勤講師は「1級」が適用されています。

集)で、正規との給料格差は月額約3万2千800円です。学校現場では正規・常勤講師の雇用形態の違いには関係なく担任や校務分掌を持ちます。これらは「同一労働同一賃金(厚生労働省)・職

務級の原則」(人事院)に反しています。大阪市教は、常勤講師に給料表「2級」を適用することを求めることも、教職員給料表の全国モデルを作成している「全国人事委員会連合会」に対して、「1級」(講師の給料表)の金額引き上げを働きかけるよう大阪市教育委員会に申し要求を出していきます。

スクールの組合員から報告があります。4月に入り大量のテスト対策プリントを印刷し、続いて『過去問題』を印刷・製本したと。全国学力テストが4月18日に行われました(第一次安倍政権2007年開始)。今年度、学習環境などの調査をオンライン方式で全面实施し、

25年度の中学理科でコンピュータ型(CBT)を導入予定しています。点数競争の弊害や教員の負担が重いことなどが問題となり青森県は独自の学力テストを今年度から廃止しました。広島県も東京都も休止・廃止しました。しかし、大阪府はすくすくウォッチを行なっています。「テスト

に必死になり、ついでに子どもの表情を忘れてしまいたい。4月です。私は始業式の日クラスの子どものために「いろんなことにチャレンジしましょう」と話をしました。前田先生の講演を聞いて、1番チャレンジをしないといけないのは自分だと感じました。

年間家計負担が1世代(2人以上)当たり28万円増えるという試算を公表しました。生活改善できる大幅賃上げは待ったなしの課題です。

能登半島地震でも明らかになった国民の命やくらしを守る公務・公共サービス、教育の体制と予算の確保も喫緊の課題です。○妊娠障害休暇14日、出生サポート休暇制度の改善・拡充、○最高号給引き上げ、55歳昇給停止廃止、非正規職員の特例休暇の有給化、○再任用(教育職員)、講師の賃金改善なども要求しました。